高校生対象給付型奨学金
「まなべる基金」応募書類

公益財団法人

東日本大震災復興支援財団

学べるしあわせをみんなに。

高校生対象給付型奨学金

「まなべる基金」

義務教育を終えて迎える高校生活は、いわば社会への第一歩。

長い人生の中で、もっとも様々な知識を得られるときであり、

長い人生を共にする、かけがえのない仲間に出逢えるときでもあります。

だから今、“学べる”という時間の尊さを感じて、あきらめないでほしい。

そんな想いを込めて、

東日本大震災復興支援財団は、「まなべる基金」を設立しました。

応募書類　目次

１．　募集要項　… ４

２．　応募手続のご案内　… ６

３．　A:　奨学金願書（全２ページ）　… ７

４．　B:　課題作文　… ９

５．　C:　り災・被災証明書のコピー　…10

６．　D:　応募資格の確認書　…11

７．　送付前のチェックリスト　…12

ご注意：
A～D の書類をご提出いただき、その他はお手元に保管ください

高校生対象給付型奨学金　「まなべる基金」　募集要項

<table>
<tr><td>1.　応募資格</td><td>以下の(1)～(5)の全ての項目を満たす生徒。
(1)　東日本大震災発生時に岩手県・宮城県・福島県の、高等学校、高等専門学校、もしくは高等専修学校等（以下「高校等」という。）、または中学校に在学しており、かつ、2012 年 4 月 1 日時点で高校等に在籍していることが見込まれる生徒
(2)　東日本大震災発生時に家計を支える方が岩手県・宮城県・福島県に居住していた生徒
(3)　東日本大震災の影響により、以下の例のような理由で家庭が経済的に困窮し、それにより進学・修学が困難な生徒
例：①　東日本大震災により、自宅が全壊、半壊、一部損壊等の被害を受けた。
②　東日本大震災（福島第一原発の事故を含む。）により、家計を主に支える方が死亡、行方不明、負傷、病気、失業等の被害を受けた。
③　自宅が福島第一原発の事故による警戒区域等にあり居住できない。
④　東日本大震災により、家族が傷病・障がい等を負い、その治療等に過度の出費が見込まれる。
⑤　東日本大震災により、遠方からの登校を余儀なくされるなど、過度の追加出費が見込まれる。
(4)　他の給付型奨学金を受給していない生徒
(5)　希望を持った高校生活を送る意欲のある生徒</td></tr>
<tr><td>2.　奨学金の金額</td><td>月額 20,000 円（返済不要）</td></tr>
<tr><td>3.　給付期間</td><td>2012 年 4 月から、高等学校、高等専門学校（３年生まで）、または高等専修学校に在学中の期間（最大 3 年間）</td></tr>
<tr><td>4.　給付スケジュール</td><td><table>
<tr><td>振込日</td><td>対象月</td><td>奨学金（月額）</td><td>振込金額</td></tr>
<tr><td>５月末日</td><td>４月～９月</td><td>20,000 円</td><td>120,000 円</td></tr>
<tr><td>１０月末日</td><td>１０月～３月</td><td>20,000 円</td><td>120,000 円</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>5.　募集人数</td><td>1,000 名程度</td></tr>
<tr><td>6.　選定</td><td>応募者の経済状況や課題作文等をもとに、選定を行います。</td></tr>
<tr><td>7.　応募書類</td><td>①　願書
②　課題作文
③　り災証明書または被災証明書</td></tr>
<tr><td>8.　応募方法</td><td>応募は、学校を通して当財団に提出していただきます。応募者は、上記の応募書類を現在所属する中学校または高校等に提出してください。</td></tr>
<tr><td>9.　応募締切</td><td>2011 年 12 月 2 日（金）消印有効
（所属の中学校または高校等から、応募書類を当財団に郵送していただく期限です。）</td></tr>
</table>

10. 注意事項	(1) 受給者が、休学や長期の欠席をする場合、奨学金の支給を停止する場合があります。就学を再開する場合、奨学金の支給を再開します（時期や状況によって、再開できないことがあります。）。 (2) 受給者が、次のいずれか１つに該当した場合には、奨学金の支給を停止することがあります。なお、⑪、⑫、または⑬に該当する場合は、支給済みの奨学金の返済を求める場合があります。 ① 「1. 応募資格」（ただし(4)は除く。）に該当しなくなった場合 ② 本人が死亡した場合 ③ 卒業・退学等により高校等に在籍しなくなった場合 ④ 就学が継続できない場合 ⑤ 当財団が別途定める受給者の報告義務等を怠った場合 ⑥ 真摯に学業に取り組んでいると認められない場合 ⑦ 在学校で処分を受け、就学に支障が出る状況になった場合 ⑧ 素行が著しく不良であると認められる場合 ⑨ 受給者の違法行為により、有罪判決を受け、または家庭裁判所の処分を受けた場合 ⑩ 当財団が受給者と連絡が取れなくなった場合 ⑪ 応募書類等の記載事項に虚偽がある場合 ⑫ 受給者が暴力団関係者である場合 ⑬ その他、奨学生として適当でない事実があり、当財団が合理的な事由により受給資格がないと判断した場合 (3) 当財団は、奨学金の適正な支給のために、応募者、受給者または在籍校に追加の資料の提出や報告を求める場合があります。
11. 報告	(1) 受給者には、年２回、高校等での活動状況について報告書を提出していただきます。 (2) 以下の場合、受給者または保護者は、変更があってから１か月以内に在学校を通じて当財団に報告してください。 ① 当財団に申告している情報（住所、氏名、連絡先、保護者、振込先口座など）に変更があった場合 ② 高校等での在籍状況に変更があった場合（転校、休学、長期欠席、留年、留学、退学など） ③ 本人の死亡
12. 現在中学3年生の方への支給条件	2012年4月に高校等に入学を希望している中学3年生については、高校等に入学後、高校等からの在学証明を提出してください。その在学証明を奨学金支給の条件とします。
13. 主催	公益財団法人東日本大震災復興支援財団
14. 協力団体	特定非営利活動法人　新現役ネット

高校生対象給付型奨学金「まなべる基金」応募手続のご案内

高校生対象給付型奨学金「まなべる基金」にご応募いただくにあたり、以下の応募書類のご提出をお願いいたします。
最終ページの「送付前のチェックリスト」をご活用ください。

＜お送りいただく応募書類＞
A:　奨学金願書（全２ページ）
B:　課題作文
C:　り災・被災証明書のコピー
D:　応募資格の確認書

＜応募方法＞
手順１：　A・B・C・D の全ての応募書類を準備する。
手順２：　バラバラにならないよう、全ての書類を左上でホッチキスで止めて、学校の先生に提出する。
※「A：奨学金願書」１ページ目に、担任の先生の捺印を頂いてください。
※学校の先生が、学校長の証明とご一緒に、当財団へ送付してくださいます。

ご注意

1. 応募書類は、在籍校にご提出ください。
（在籍校を通じた方法以外の提出は、受け付けておりません。）

2. 応募書類の準備・取得・提出にかかる費用は、応募者でご負担願います。

3. 応募書類は、お手元用に、コピーを取って保管してください。お送りいただいた応募書類は、お返しできません。

当財団は、ご提出いただく個人情報について、当財団 HP 記載の「個人情報の取り扱いについて」に従い適切に利用します。在籍校への連絡または当財団の業務委託先への情報共有以外で、ご本人の承諾なく第三者に個人情報を提供することはありません。

【本件についてのお問合せ先】
公益財団法人東日本大震災復興支援財団
「まなべる基金」　担当
e-mail：manaberukikin@minnade-ganbaro.jp
電話：0120-957-802
電話受付時間　平日　13:00～17:00
（土曜・日曜・祝日：受付なし）

こちらの書類をご送付ください。

A:　奨学金願書（全２ページ）

記入日	（西暦）20　　年　　月　　日

公益財団法人東日本大震災復興支援財団　御中

貴財団主催の「まなべる基金」の奨学金の募集要項に同意し、申し込みます。なお、応募に当たって提出する書類の記載事項の一切は、事実と相違ありません。

本　　人　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保　護　者　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ㊞

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊担任の先生へ：　下欄にご記入の上、押印願います。＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

上記の生徒が本校の生徒であること、および、本奨学金願書の内容に虚偽がないことを確認いたします。

（西暦）20　　年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿学校　　氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ㊞

本人氏名	ﾌﾘｶﾞﾅ	生年月日	(西暦)　　年　　月　　日 (満　　歳)
本人 住所・ 電話番号	〒　　－ 電話（自宅・携帯電話）　　（　　）		
e-mail	@		
在学 （志望） 高校名	（中学３年生の場合は、志望の高校を記入。） 立　　高等学校／学校／分校　　全日制／定時制／通信制　　年に在学／志望		
中学校名	（現在中学３年生の場合のみ記入。） 立　　中学校		
2011 年３月 11 日時点の在籍校名	上記と同じ ・ 上記と違う　→　学校名（　　県　　立　　学校）		
保護者氏名	ﾌﾘｶﾞﾅ	本人との続柄	
保護者 住所	〒　　－ 電話（自宅・携帯電話）　　（　　）		

奨学金の給付が決定した場合、東日本大震災復興支援財団から取材やアンケートのお願いのためにご連絡をしてもよろしいですか？

→　□　はい　　□　いいえ

※こちらのご回答は、奨学金の選定には関係がありません。

こちらの書類をご送付ください。

学校名	校　　年	氏名	

家族構成（本人以外）				
続柄	氏名	年齢	職業・学校名	震災発生後から今年９月までの平均月収手取り額（下欄の特別収入除く。）
				万円
				万円
				万円
				万円
				万円
				万円
平均月収手取り額（特別収入除く。）の合計額				万円
特別収入（東日本大震災による、行政などからの義援金、生命・損害保険の保険金、失業保険などの収入をご記入ください。）				万円
負債額（住宅、教育、自動車、消費者ローン、事業のための借入等の負債額の合計をご記入ください。）				万円

家庭の状況（該当するものに〇）	１．　生活保護法による生活保護を受けている。 ２．　孤児 ３．　ひとり親家庭 ４．　兄弟・姉妹が本人含めて３人以上 ５．　家族に要介護者・障がい者・病気で長期療養中の方がいる。
東日本大震災による、家計の急変事由（該当するものに〇）	１．　東日本大震災により自宅が【　全壊　・　半壊　・　一部損壊】。 ２．　東日本大震災（福島第一原発の事故を含む。）により、家計を主に支える方が【死亡　・　行方不明　・　負傷　・　病気　・　失業】。 ３．　自宅が福島第一原発の事故による警戒区域等にあり居住できない。 ４．　東日本大震災により、家族が傷病・障がい等を負い、その治療等に過度の出費が見込まれる。 ５．　東日本大震災により、遠方からの登校を余儀なくされるなど、過度の追加出費が見込まれる。 ６．　その他（　　）
家庭事情（東日本大震災後の家庭事情や特に説明を要することをご記入ください。）	

こちらの書類をご送付ください。

B:　課題作文

課題：　「高校生活で私が夢中になりたいこと」
高校生活の中であなたが夢中になりたいこと、その理由、今までの経験や実績（もしあれば）、将来の夢、その他どんな高校生活を送りたいか自由に書いてください。夢中になりたいことは、学業でも、スポーツでも、芸術・文化でも、何でも構いません。

学校名	校　　年	氏名	

こちらの書類をご送付ください。

C:　り災・被災証明書のコピー

学校名	校　　年	氏名	

●市町村役場で発行された、り災・被災証明書のコピーを以下に貼りつけてください。

こちらの書類をご送付ください。

D:　応募資格の確認書

学校名	校　　年	氏名	

以下の項目にチェックを入れてください。**ひとつでも「いいえ」がある場合は、応募できません。**

1．東日本大震災発生時に、岩手県・宮城県・福島県の高等学校、高等専門学校、もしくは高等専修学校等、または中学校に在学していましたか？
→　□　はい　　□　いいえ

2．2012 年 4 月 1 日時点で高等学校、高等専門学校、または高等専修学校等（岩手県・宮城県・福島県でなくてもよい。）に在籍していることが見込まれますか？　（入学希望も含む。）
→　□　はい　　□　いいえ

3．東日本大震災発生時に、家計を支える方が岩手県・宮城県・福島県に居住していましたか？
→　□　はい　　□　いいえ

4．東日本大震災の影響により、家庭が経済的に困窮し、それにより進学・修学が困難ですか？
→　□　はい　　□　いいえ

5．他の給付型奨学金を受給していませんか？　（返済義務のある奨学金は入りません。）
→　□　はい、受給していません。　　□　いいえ、受給しています。

6．希望を持った高校生活を送る意欲がありますか？
→　□　はい　　□　いいえ

送付前のチェックリスト

以下の全ての書類が入っていますか？

□　A:　奨学金願書（全２ページ）
　　→　記入漏れはありませんか？

□　B:　課題作文

□　C:　り災・被災証明書

□　D:　応募資格の確認書